

# 平成29年度実績に係る部局評価書

部局名: ナノサイエンスデザイン教育研究センター

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

## 【評価区分1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	S	<p>平成29年度計画の達成状況が優れている。</p> <p>文部科学省の職業実践力養成プログラムの認定を受け、厚生労働省の専門実践教育訓練講座の指定による受講企業すべて(4社9名)が厚生労働省助成金の受給資格を得たことが評価できる。</p> <p>また、博士後期課程に一般学生向け14単位の副専攻プログラム、社会人博士ナノ理工学特別コースに8単位の高度副プログラムを設置し、合計6プログラムとしたこと、また社会人教育のコースを充実させ、土曜講座への参加者が前年比で増加したこと、遠隔配信数もこれまでの最大16カ所で行ったことが評価できる。</p>
【研究】	S	<p>平成29年度計画の達成状況が優れている。</p> <p>産学コンソーシアム参加企業数を増やし研究交流を進めたこと、また住友電工アドバンスト解析技術共同研究部門が5月1日から3か年計画で設置され(平成32年度末迄)、計算物質科学についての研究と人材育成に関して企業との連携が開始されたことが評価できる。</p>
【社会貢献】	A	<p>平成29年度計画の達成状況が良好である。</p>
【グローバル化】	S	<p>平成29年度計画の達成状況が優れている。</p> <p>日越大学ナノテク専攻への講義提供、国際共同研究促進プログラムへの採択、マレーシア科学大学とのダブルディグリー協定の締結、アセアンキャンパス構想の一つであるベトナム科学技術院のVAST-OU Joint Office開設に参画し、3月に現地でワークショップを実施する等、グローバル化に向けた取組が評価できる。</p>
【業務運営】	S	<p>平成29年度計画の達成状況が優れている。</p> <p>社会人教育受講料の実質値上げを行ったものの前年度を上回る受講生を集めたこと、新設の共同研究部門を含めて共同研究実数および共同研究費総額が増加したことが評価できる。</p>
【広報】	A	<p>平成29年度計画の達成状況が良好である。</p>

## 【評価区分2: 「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】</p> <p>常勤教員一人あたりの論文数について、成果を確認する一環として常勤教員に対して教育・研究・社会貢献に関する自己計画評価報告書を年度末に提出させるなど、意欲的に取り組むことで実績を向上させたことが評価できる。</p> <p>また、公開講座等の実施件数について、企業の企画運営委員からのテーマや講演者の希望を聴取して毎回企画を行うことで、多数の参加者を集めていることが評価できる。</p>
--